

Text by
角田郁雄

Ikeno Tsumoda

Photo by 田代法生



さらに進化したフローティング・システム 専用の高精度トーンアームと共に味わう

Profile

2008年にデンマークで設立されたアナログブランド、バーグマン。画期的なエアーパーリングシステムと、精度の高いリニアトラッキングアームの開発で知られており、同社のMagneはその解像度の高さと音楽性の豊かさで、すでに世界中のアナログファンから大きな喝采を浴びている。同社より、そのMagneをさらに進化させたアームレス・ターンテーブルシステムGalderが登場した。専用のリニアトラッキングアームOdinと組み合わせたその音を、角田都雄氏がレポートする。

独自のエアーパーリングで理想の音を引き出す

BERGMANN Galder

アームレス・ターンテーブル

ディスク真空吸着機構 ¥2,700,000(税別)

ディスククランプ機構 ¥2,200,000(税別)

BERGMANN Odin

リニアトラッキング・トーンアーム

Galder専用モデル ¥850,000(税別)

汎用モデル ¥1,250,000(税別)

Specifications

【Galder】●ターンテーブル:エアーパーリング・デザイン、ディスク真空吸着またはクランプ方式●4トーンアーム(スイングアームまたはリニアトラッキングアーム) 取り付け可能、エアーパーリング・トーンアーム用エア出力装備●ブラッター:アルミブラッター、3mmアクリルマット、エアーパーリング●ベアリング:スチール・スピンドル、低摩擦ポリマーベアリングによるセンターリング●ブラッター質量:11.8kg●モーター・ベース:電子制御DCタコモーター、ベルトドライブ●スピード精度:0.003%●回転数:33,45回転(微調整可能)●筐体:ブラックアノダイズド・ダイキャストアルミニウム素材●フィート:アルミニウム/セラボール構成による高さ調節機能つき3点支持●サイズ:365W×190H×480Dmm●総質量:38.0kg●エアーストライ:サイレント・クリーン・スムーズ・エアフロー、リセプタクル・フィルター●サイズ:465W×235H×225Dmm●質量:15.6kg●電源:100VAC 50/60Hz●消費電力:10W

【Odin】●トーンアーム:リニアトラッキング・エアーパーリング・トーンアーム●素材:アルミ/カーボン(パイプ内ダンブ材装填)●ウエイト:デ・カップリング・カウンターウエイト●ワイヤー:高品質リッツ線●シェルリード端子:金メッキ銅●コネクタ:DIN●有効質量:11g●最適応カートリッジ質量:8~15g●アームボード:アルミニウム●サイズ:190W×70H×265Dmm●Odin汎用モデル付属のエアーストライ:サイレント・クリーン・スムーズ・エアフロー、リセプタクル・フィルター●サイズ:155W×135H×330Dmm●質量:5.7kg●電源:100VAC、50/60Hz●消費電力:8W●取り扱い:アクシス(株)



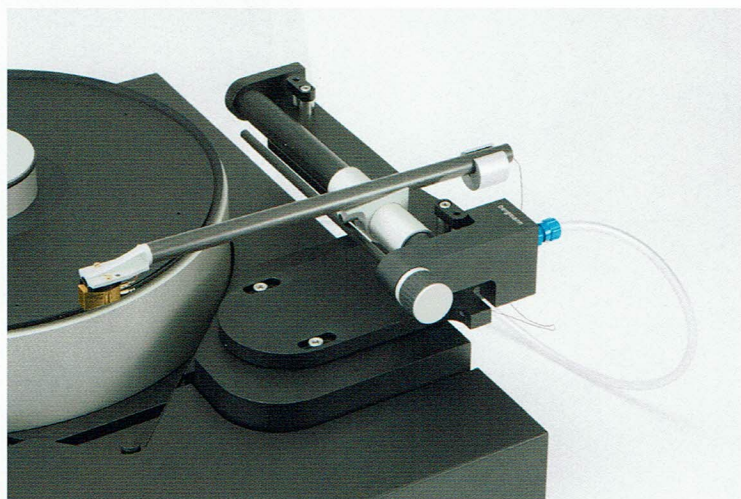
空気の中でプラッターを支え
振動の影響を徹底的に排除する

ノルウェーとスウェーデンの
対岸に位置するデンマークには、
歴史ある街並みがある一方、デ
ザインに優れ、技術を極めた製
品を生み出し、私は、そこに魅
力を感じる。例えば、世界の子
供達を魅了する小さなプラステ
イックの積み木「レゴ」。世界の
オーディオメーカーで使われる
B&OのICE Power、
さらに世界のレコーディングエ
ンジニアの多くが賞賛するDP
Aのコンデンサーマイクロフォ
ンなどなど。いずれの製品にも、
「知と技」を感じさせてくれる。
ここで紹介する新進のプレーヤ
ーメーカー、バーグマンも、そ
のフレイバーを感じさせてくれ
る。2年前には、デビュー作と
なるMagneが登場。エア
ーで、プラッターとリニアトラッ
キングアームを浮かせる画期的
なフローティング・システムは、
いまもおお、世界的に高い評価
を受けている。音楽をゆったり
と聴くためには、メカメカしい
姿は不要で、シンプルで美しい
デザインに仕上げられているこ
とも特徴だ。まさに北欧家具の

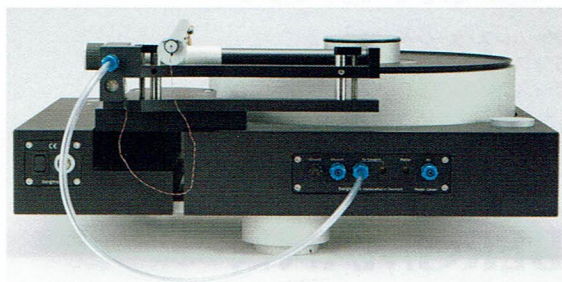
機能美そのものである。私はこ
のデザインと音に惚れ込み、こ
のモデルを導入し、その音に夢
中だ。

そして、今回は、さらにMa
gneを進化させたレコードプ
レーヤー、Galder(Aーム
レス)と他社プレーヤーでも取り
つけ可能なリニアトラッキング
アーム、Odinが登場した。
紹介しよう。プレーヤー、Ga
lderの大きな特徴は、11・
8kgのアルミダイキャスト製プ
ラッターをエアープンプから送
出されるエアで浮かせ、さら
にエアープンプで、レコードを
吸着できることだ(吸着機構非搭
載モデルも用意)。写真のように
ターンテーブル部とモーター駆
動部が微細振動を排除するため
に分離されているが、使いやす
さを考慮し、この2つ機構を振
動の影響を受けない、厚みのあ
るアルミ材底板で連結されてい
る。柔らかな質感のキャビネッ
トも実はアルミ切削で製作され
ている。3点支持の大型脚部も
アルミ性であるが、底にはセラ
ミックボールが埋め込まれ、別
途で、この脚部を受ける小型円
形ベースを使用する。このベー
スにもセラミックボールが使わ

BERGMANN Galder/Odin DETAILS



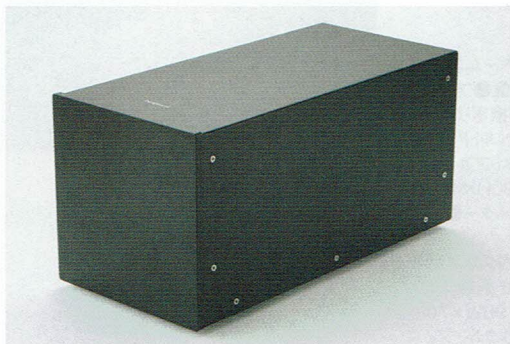
アームレス・ターンテーブルGalderに、専用リニアトラッキングアームOdinを載せたところ。Galder
本体から供給されるエアによって、アームパイプに空気が送られターンアームを動かすことができ



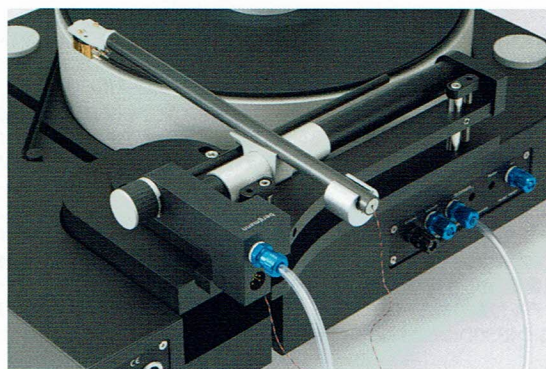
GalderとOdinを組み合わせたところの背面。デンマークでハンドメイドされ
ており、精度の高さをうかがわせる



Galderの筐体を支える
インシュレーター部分。
脚部とボールの接触面
を小さくすることで、不要
振動を排除している



エアースプライ部分。プラッター／アームをエア・フローティングさ
せる空気の送り込みと、盤面を真空吸着する空気の吸い込みを担う



Galderには、Odinを含め一
般のスイング・トーンアーム
を4本まで取りつけることが
できる

開発者から

バーグマン・オーディオ
デザイナー、マネージャー &
ファウンダー
ジョニー・バーグマン氏



10世紀の昔、コロンブスがいわゆる「アメリカ大陸を発見」したとされる400年も前、北欧バイキングは、その、驚異的能力を持った美しきバイキング船によって北大西洋を横断し、北アメリカ北東海岸に入りました。デンマークの、美しいデザインと機能を結びつける伝統はそうした千年を超す歴史に根ざし、それはまた、バーグマン・オーディオのルーツでもあります。機能とデザインを一体化させるシンプルシティー、表裏一体となった厳選された素材と高い精度のクラフツマンシップ。バーグマン最新のターンテーブルGalderとリニアアームOdinにはそれらが高度に融合しています。エアーベアリング技術の絶対的優位性が、レコード再生に新しい命を吹き込み、その価値を限りなく高めることを願って止みません。

れ、脚部とベースのボールが点接触し、支点を明確にすると同時に、振動を排除する仕組みになっている。何ともエレガントな支持機構である。アームベアスは、一見、モーター駆動部に配置されているように見えるが、3mm程度の隙間があり、アームベアスは、ターンテーブルのキャビネットに固定され、モーターの微細振動の影響を受けない仕組みである。

このプレーヤーは、最大4本のアームを搭載できることも魅力的だ。実際の再生では、レコードをセットし、スタビライザーを置くと自動的にレコードの吸着を開始する(スピンドル軸中央の空気穴をスタビライザーで塞ぐと吸着する仕組み)。

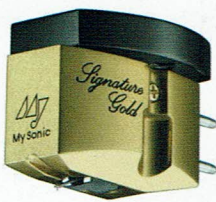
このプレーヤーにベストマッチのリニアアームは、MagneticsのOdinの機構は、Magneticsと基本的には同様で、ストレスなく、滑らかにエアー・フローティングで移動する。進化したことは、アームを支えるサポートアームは、がっちりとしたフレームで支えられ、高さ、水平、VTA、針先前後位置の調整が、簡便に、より精密に行えるようになったことである。このアームの優位点は、インサイドフォースキャンセラーを正確に調整できることだ。テストレコードの溝のない無音トラックに針先を置き、水平調整すると、内周にも外周にも流れず、カートリッジがピタッと静止状態を保つ。これにより、針先が、レコードのV溝を均等に高精度トレースでき、高解像度再生を可能にする。なお、Odinを他社プレーヤーに取りつける場合は、付属のベースプレートをキャビネットにねじ止めするだけで良く、その上に本体を取りつける仕組みだ。アーム全体の前後スライド調整も可能で、前述の各種微調もできる。

アナログの豊潤な倍音を高解像度に乗せてくれる

このOdin搭載のGalderの大きな特徴は、再生するレコードに内包する情報をくまなくトレースしているかのような情報量の豊富さである。空間の広さと奥行きを最大限に再現し、奏者や歌い手の距離感を鮮明にする。楽器や声の繊細さや柔らかさは、もちろんのこと、ホールやスタジオの空気感までも歪み感なく、高解像度で再現

することに、驚きを隠せなかった。弱音の再現性が格別に高いのである。私の愛聴するヴォーカル曲では、眼前で、生演奏されているかのような臨場感を再現し、トランペット、ピアノ、ベース、金属系のパーカッションの響きには、細かな余韻までも再現された。マイルス・デイビスやマリヤ・カラスでも、古い音源とは思えない臨場感を憶えた。もともと壮大であったのは、大植英次指揮、ミネソタ管弦楽団によるレスピーギの「シバの女王ベルキス組曲」であった。きめ細かくで膨らみのある弦楽と壮大な金管楽器の響きが空間で交差し、胸を打つようなティン

● 組み合わせた機器と試聴ディスク



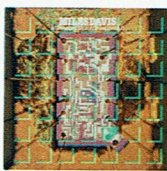
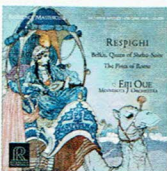
● カートリッジ
マイソニック SIGNATURE GOLD



● フォノイコライザーアンプ
アキユフェーズ C-37



【マリヤ・カラスの芸術(1954~1969)】(東芝EMI EAC-5 7074~85)
【ターン・アップ・ザ・クワイエット】(VERVE 5735218)
【レスピーギ:シバの女王ベルキス/大植英次(指揮)、ミネソタ管弦楽団】(Reference Recordings RR-95)
【アット・ブラグド・ニッケル・シカゴ Vol.2/マイルス・デイビス】(CBS/SONY 18AP-2068)



パニと鮮烈なシンバルが響きわたる。最内周のフォルテシモでも音に滲みがない。これは、一直線に針先を移動させるリニアトラックアームと重量級ブラッターの静かな回転による、絶大な効果である。また、前述のインサイドフォースキャンセラー調整により、カートリッジの特性を最大限に發揮したから。まさにアナログの豊潤な倍音を高解像度に堪能させてくれるプレーヤーシステムである。一品もののように丁寧に仕上げられた、美しい姿と、決して、あらわにしない高度技術は、「音の五つ星物語」にふさわしく思えてならない。